



自然を
楽しむ

⑧

「泥パツクの効用」

北村 豊

(小布施町栗ヶ丘)

ぬた場（沼田場）は、イノシシや鹿等の動物が泥浴びに利用する“公衆浴場”のような場所です。

写真はイノシシ専用の、長さ7～8mもある山中としてはとても大きなぬた場で、体表のダニやシラミを除去する大切な場所です。使用された泥は大量で、窪地は徐々に深くなっていった様です。

“沼田打ち回る”が語源となり、苦しみ転げ回る表現の“のたうちまわる”が生まれたそうですね。

スタバは街に、ぬた場は山中にありました。